



ひがしあざ

議会だより

2025 No.318
1 月号

本年もよろしくお願いいたします

—議員一同—

地域の交流の場を目指して
「三宝縁」
子どもおとな食堂
12ページで紹介

企業版ふるさと納税など増額

一般質問

議会改革特別委員会中間報告

かがやくまちのひと

- 2～3
- 4～6
- 8～9
- 12



議会HP

第4回
定例会

定例会の
あらまし

一般会計補正予算等を可決

企業版ふるさと納税寄附金など増額

令和6年第4回定例会を12月4日から5日までの正予算、水道事業会計補正予算、条例改正を含む計8議会改革特別委員会中間報告も行いました。

2日間の日程で開催し、令和6年度一般会計補正予算、特別会計補件が提出され、審議の結果すべて原案どおり可決しました。また、

Pickup ① 企業版ふるさと納税寄附金



310万円

東伊豆町の地方創生の取り組みに対して2者の企業から寄附がありました。

新たなパートナーシップの構築

Pickup ② 児童手当増額

1,864万円

12月支給分から支給額などが拡充されます。

制度 児童手当	
児童を養育している方への手当	
2024年10月(12月支給分)からの主な変更点	
対象児童	18歳(高校生)まで
所得制限	撤廃
第3子以降	月額3万円に増額
支給月	偶数月(年6回)

Pickup ③ 給食費を応援

210万円

物価高騰による給食費の値上げ分を引き続き町が負担し、保護者の負担を減らします。



Pickup ④ 小児予防接種

429万円

接種費用に対する助成の期限が近づき、子宮頸がんワクチンの接種希望者が増加するため。



Pickup ⑤ 空き家利活用

70万円

稲取・水下庵に照明を取り付け、エアコンを設置します。



○ 賛成 × 反対 ※議長は採決に加わらない

議案名	採決結果	山田豪彦	鈴木伸和	楠山節雄	※立井政明	稲葉義仁	栗原京子	西塚孝男	須佐 衛	村木 脩	内山慎一	定居利子	山田直志
条例・規約の一部改正等													
議案第52号 地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例の全部改正	可決(11:0)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第53号 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決(11:0)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第54号 静岡地方税滞納整理機構規約の変更	可決(11:0)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
補正予算													
議案第55号 令和6年度一般会計補正予算(第9号)	可決(11:0)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第56号 令和6年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	可決(11:0)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第57号 令和6年度介護保険特別会計補正予算(第2号)	可決(11:0)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第58号 令和6年度水道事業会計補正予算(第2号)	可決(11:0)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問													
諮問第2号 人権擁護委員候補者の推薦	可決(11:0)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○

Q 育英奨学金の活用強化を

A 広報や対象条件の緩和等を検討したい

Q 基金を設置しても、利用されていない事業もある。育英奨学金において、下宿生の生活費は12万円超、また東京でのアパート等は8〜10万円を超える。学問の志のある子どもを支援する、また専門職での就職などに猶予免除の活用も検討しては。

A 育英奨学金は大学で月3万円・入学時50万円、高校・専門学校では月2万円・入学時20万円となり、5〜10年で返還する。令和6年度は支給



利用しやすい育英奨学金に

Q 把握していない民間等への調査意向の考えは。

A 民間への調査は現時点では考えていない。

Q 町が実施する防犯カメラ設置の考えは。

A 防犯カメラの設置は事件や事故等の解決に力を発揮することや社会的弱者を守る上で重要であるとの考えの一方、プライバシー保護の観点から住民の反対意見もある。さらに運用面や管理面、責任の所在や導入維持費用の問題、自治体ごとのガイドライン等様々な課題があるのも事実なので、それらを踏まえながら財政的な面も含め慎重な検討が必要と考えている。

Q 継続的な事業への活用については検討したい。

A 継続的な事業への活用については検討したい。



山田直志 議員

そのほかの質問

Q 農業用ドローンの検討を

A 制度設計を考えたい



Q 防犯カメラ設置の考えは

A 安全安心な町づくりには必要な設備であるとの認識だ



防犯の抑止力に効果を発揮する防犯カメラ

Q 町内の防犯カメラ設置状況の把握は。

A 民間事業者や個人宅の防犯カメラ設置状況は民間の事案であることから行政として把握はしていない。また、下田警察署でも同様。一方、役場をはじめ幼稚園や小学校などの公共施設の設置状況はしっかりと把握している。

Q 把握していない民間等への調査意向の考えは。

A 民間への調査は現時点では考えていない。

Q 町が実施する防犯カメラ設置の考えは。

A 防犯カメラの設置は事件や事故等の解決に力を発揮することや社会的弱者を守る上で重要であるとの考えの一方、プライバシー保護の観点から住民の反対意見もある。さらに運用面や管理面、責任の所在や導入維持費用の問題、自治体ごとのガイドライン等様々な課題があるのも事実なので、それらを踏まえながら財政的な面も含め慎重な検討が必要と考えている。



楠山節雄 議員



そのほかの質問

Q 緊急通報システムは必要不可欠と考えるが

A スマホ等の活用を図るなど改善を図っていききたい

Q 人間ドック補助制度の改善を

A 後期高齢者にも対象拡大を図るために検討したい

Q ごみステーションの場所及び設置数は

A 現在町内の508箇所に設置

Q ごみステーションの場所及び設置数の見直し

A 設置箇所については町内会、近隣住民での管理を前提に地域の要望に基づいている。新たな設置の要望については、近隣住民や各地域の町内会と協議するなど、管理体制が整えば追加の調整も可能と考える。

Q 収集ルート及び収集回数

A 現状特には考えていないが、場所及び設置数の見直しがあつた場合に



きれいなごみ置場に

Q 多言語表記の看板を設置

A 既にごみの出し方に関するポスターを製作中。英語・ベトナム語・中国語・ネパール語のポスターを作成し、ごみステーションへの設置や外国人を雇用する事業所への配布による周知の依頼等、活用を進めたいと考えているところである。

Q 高齢者のごみ出し支援

A 介護予防を目的として、令和5年度から福祉協議会に委託し開始した生活支援体制整備事業「支え合う東伊豆」内の生活支援事業においてごみ出し支援を行っており、令和5年度は、4件20回の実績があつた。



山田豪彦 議員



Q 優しい町づくりにつながる挨拶や声掛けを

A 積極的に推進したい



声掛け声で町を明るく

Q 町全体で挨拶の声掛けをしたらどうか。

A 町民が町民同士、または観光客に挨拶をした、声を掛けることは本当に大切でこれからも推進していくべきだと考える。

Q 観光客がキャリーバックを持って稲取駅の階段を下りてくるので、階段の隅にスロープを造ってどうか。

A どのような対応がとれるのか伊豆急行と話し合いをしているところである。

Q ラーケーションとは「ラーニング(学習)」と「パークション(休暇)」を合わせた言葉で、児童生徒が保護者の休暇に合わせて学校を休んでも欠席扱いにせず、家族との時間を過ごしながら自主的な学びを得ることを推奨する制度のこと



西塚孝男 議員



そのほかの質問

Q ラーケーションの日制度の検討状況は

A 来年度から試験的に行う予定

Q 高校生の通学費の助成を考

A えるべきでは

Q 子どもたちへの支援という立場に立った上で全体的に俯瞰しつつ丁寧な議論を進めたい

第2回臨時会 堆肥化事業まもなく開始

11月19日に第2回臨時会を開催し、一般会計補正予算、条例の一部改正などを審議し、すべて原案どおり可決しました。

Pickup ① 旧アスト会館体育館消防設備改修工事 304万円



ごみ堆肥化事業設備

現在、東伊豆町で進めている生ごみの堆肥化事業において、旧アスト会館体育館に設備の設置が完了したが、それに伴い消防設備の改修が必要となった。

Pickup ② 堆肥化事業開始に伴う条例の一部改正

ごみ堆肥化事業で使用する廃棄物処理に関して新たに手数料を設定する。

ごみ堆肥化事業で使用する廃棄物	1キログラムにつき 7円
-----------------	--------------

○ 賛成 × 反対 ※議長は採決に加わらない

議案名	採決結果	山田直志	定居利子	内山慎一	村木 脩	須佐 衛	西塚孝男	栗原京子	稲葉義仁	笠井政明	楠山節雄	鈴木伸和	山田豪彦
専決承認第8号 令和6年度一般会計補正予算(第7号)	可決(11:0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第50号 廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正	可決(10:1)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第51号 令和6年度一般会計補正予算(第8号)	可決(10:1)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

Q 賀茂医療圏外への救急搬送の状況は

A 伊東市民病院109人、順天堂大学病院46人である



須佐 衛 議員



圏域外への救急搬送も多い

Q 賀茂圏域に搬送された数と比べてみても、4分の1が圏域外への搬送であり、

A 令和5年度に救急搬送された町民は607人で、そのうち伊東市民病院が109人で18%、順天堂大学病院は46人で7.6%だった。

Q 2次医療圏地域医療ネットワーク事業の実績は。

A 3次救急病院とのデータのやり取りをリアルタイムで行うもので、死亡率の高い急性心筋梗塞等への対応に備えたものである。町内ではまだ実績がない。

Q 搬送先は患者の生命を最優先に選択される。また、第二次救急医療運営費負担金は賀茂圏域の1市5町で負担しており、負担割合は市町間の協議によって決定される。また、この負担金は圏域内の市町が区域内の医療機関に納付しており、2次救急医療圏以外への納付は行っていない。ちなみに順天堂大学病院は3次救急医療機関であり、静岡県から救急医療に対する運営費負担金が支払われている。



Q 本来、賀茂医療圏域の2次救急病院は下田メデイカル、東部総合病院、今井浜病院、西伊豆病院となっていて、町は運営費を525万円負担している。しかし伊東市民病院や順天堂大学病院へ搬送される割合も少なくない。どの程度いるのか。

A 令和5年度に救急搬送された町民は607人で、そのうち伊東市民病院が109人で18%、順天堂大学病院は46人で7.6%だった。

そのほかの質問

Q 二拠点居住の方へのプレミアム商品券の発行は

A 二拠点居住の定義が定めにくく、確認作業等の事務手続きの対応が困難

Q 負担割合を見直すべきではないか。

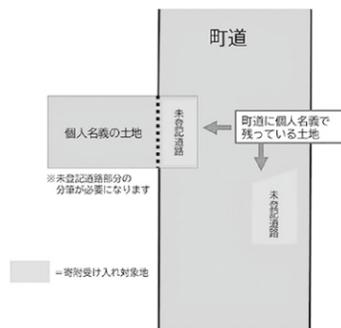
A 搬送先は患者の生命を最優先に選択される。また、第二次救急医療運営費負担金は賀茂圏域の1市5町で負担しており、負担割合は市町間の協議によって決定される。また、この負担金は圏域内の市町が区域内の医療機関に納付しており、2次救急医療圏以外への納付は行っていない。ちなみに順天堂大学病院は3次救急医療機関であり、静岡県から救急医療に対する運営費負担金が支払われている。

Q 道路内民有地の取り扱いは

A 分筆・所有権移転登記等を可能な限り進める



鈴木 伸和 議員



道路内民有地とは

Q 道路内民有地の現状は。

A 全国的な問題として認識している。町内の現状は把握しきれていない。

Q 道路内民有地の固定資産税の課税状況及び徴収は。

A 道路内民有地の現況が公衆用道路であれば非課税となり徴収はしていない。



Q 町が道路内民有地の未登記の存在を判明した場合の対応は。

A 状況をみて、適切な対応を図っていききたい。HPなどを利用して、具体的な解消の手続きを広報していきたい。

Q 道路内民有地の相続人から申し出があった場合の対応は。

A 予算の範囲内で分筆・登記を行っていききたい。継続的な事業として未登記民有地の所有権移転登記等を積極的に推進していく考えは。

A 未登記の解消手続きをHP等で提示し、可能な限り進めていきたい。

そのほかの質問

Q 随意契約について

A 地方自治法施行令及び町契約規則に基づき執行をしていくが、今後はより一層透明性を高め、理由等の説明責任を明確にするためのガイドラインの創設を検討していく。

議会改革特別委員会 中間報告書を提出

報酬等審議会の開催を打診

- 特別委員会の目標
- 町民に開かれた議会のあり方についての調査・研究
 - ペーパーレス化をはじめとするDX推進のための調査・研究
 - 「立法機能」「監視機能」の強化を図るための調査・研究
 - 議員定数・議員報酬のあり方についての調査・研究

令和5年6月に改めて設置された議会改革特別委員会では、左に掲げた4つの目標のうち、まず「議員定数・議員報酬のあり方」「町民に開かれた議会のあり方」を中心に協議・検討を進めてきました。「定数」と「報酬」については、それぞれ別個に議論すべきものという考えに基づいて各々部会を設置し、「町民に開かれた議会」については、広報・広聴の視点から広報編集委員会において議論を進めました。



中間報告書は
こちら

※以下には報酬部会でまとめた議員報酬の現状と比較を簡単にまとめました。

～議員報酬の現状と比較～ 議員報酬の現状と比較～ 議員報酬の現状と比較～ 議員報酬の現状と比較～

議員定数・報酬 近隣市町の状況

令和6年6月20日現在／人口は各市町HPから引用

自治体名	人口(人)	議員定数	議員報酬(千円)			
			議長	副議長	委員長	議員
河津町	6,467	10	295	225	211	202
南伊豆町	7,405	11	245	187	175	168
松崎町	5,727	8	273	208	187	187
西伊豆町	6,737	10	273	208	195	187
下田市	19,504	13	350	315	290	290
東伊豆町	11,190	12	240	184	178	168

- 当町の議員報酬は近隣1市5町及び県内の町の中で最低水準。
- 県内の町の議員報酬平均は211千円であり、当町と比較して+43千円、率にして126%となっている。

議員報酬と職員等給料の比較

(単位：千円)

	議会				特別職(三役)			新規職員		
	議長	副議長	委員長	議員	町長	副町長	教育長	大卒	短大卒	高卒
平成15年	300	230	223	210	675	579	513	172	155	144
令和6年	240	184	178	168	609	522	462	202	192	171
変動額	▲60	▲46	▲45	▲42	▲66	▲57	▲51	▲31	▲37	▲27

- 当町では平成15年4月に議員報酬を20%減額した。当時の社会情勢を鑑み2年間の時限的措置として対処したが、結果として見直されることなく現在に至っている。なお、これは町長をはじめとする特別職の給与についても同様で見直しは行われていない。
- 平成15年度、議員報酬210千円に対して大卒新規職員の給与は172千円・高卒のそれは144千円であったが、令和6年度の議員報酬は168千円で、大卒の202千円・高卒の171千円よりも低い。

報酬等審議会の開催を要望し協議を継続

～報酬部会～

報酬部会では、まず現状分析として近隣市町や県内の町、また全国の類似団体における議員報酬の状況を調査しました。他にも首長や職員の給与水準との比較や一般会計予算に占める議会費の状況等、様々な視点からの比較検討を行った結果、右のような提言をまとめるに至りました。

〔協議結果〕

- 平成15年に行われた報酬削減前の水準まで引き上げることが妥当と考える。
- 同年の引き下げ以降、見直しがされていない町長・副町長・教育長の給与についても同様に考えることが望ましい。
- 上記2点につき、その妥当性について審議いただくため、東伊豆町特別職報酬等審議会の開催を求める。

今後は引き続き「議員に求められる活動」の明確化・具体化を議論の基盤とし、原価方式の基準による議員報酬の算出等、適正な議員活動と議員報酬のあり方を継続して協議していく予定です。

住民の声を拾い特集記事を編集

～広報編集委員会～

広報編集委員会では、議会だよりの編集に住民との対話などの広報広聴活動を組み合わせ、関心を持って読んでいただける誌面づくりを目指して取り組んでいきます。

〔協議結果〕

- 様々な団体と懇談をしながら題を吸い上げ、議会だよりに特集としてまとめていく。広報編集委員会に限らず範囲を広げて活動することも念頭におく。
- 令和7年3月を目途に「東伊豆町議会広報発行に関する規程」を改廃し、広報広聴活動の根拠を明確化する。

～議員報酬の現状と比較～ 議員報酬の現状と比較～ 議員報酬の現状と比較～ 議員報酬の現状と比較～

令和5年度 人口10,000人～15,000人規模の町村一覧

都道府県名	町村名	人口(人)	人口(km)	議員定数(人)	議員報酬額(千円)	町村長給料額(千円)	議員報酬順位	首長に対する報酬割合
大阪府	太子町	12,896	14.2	10	320	820	2	39.0
神奈川県	箱根町	10,958	92.9	14	306	855	3	35.8
大阪府	岬町	14,642	49.2	12	300	770	4	39.0
福岡県	芦屋町	12,977	11.6	12	298	744	5	40.1
富山県	朝日町	10,851	226.3	10	288	810	6	35.6
長野県	飯綱町	10,441	75.0	15	174	679	156	25.6
静岡県	東伊豆町	11,280	77.8	12	168	609	157	27.6
山梨県	市川三郷町	14,817	75.2	14	157	638	158	24.6
山梨県	見延町	10,183	302.0	14	156	691	159	22.6
平均値		12,394	160.1	12.96	226	754		30.0

- 当町では27.6%にとどまっている首長の月額給与に対する議員報酬の割合について、令和6年7月の全国町村議会議長の決議ではこれを市議会議員と同水準の47%を目指すとしている。仮に同水準で計算すると議員報酬は286千円となり、現行水準から+118千円、率にしておよそ170%の増となる。
- 人口1万から1万5千人規模の類似地方自治体159団体における議員報酬の平均は226千円であり、当町の168千円は159団体中157位の水準である。ちなみに町村長の給料は平均で754千円、当町のそれは609千円で159位(最下位)となっている。

健康づくり事業への市民参加の取り組みを視察

【東京都東村山市 健康づくりに関する取り組み】

保健推進委員の養成講座

東村山市では、保健推進委員の養成講座（3回開催）、研修会及び健康測定を行い、保健推進委員自身の健康意識や知識の向上を図りながら各町内担当の保健師が活動をサポートしています。



担当職員から説明を受ける

主な活動

- ・ 地域住民の健康づくりへの啓発：生活習慣病予防教室、ウォーキング等
- ・ 市の健康づくり関連の行事に対する参加協力
- ・ 健康づくり活動の個人・団体間の交流：交流会
- ・ 健康づくりに関する市との情報交換：会議参加等

地区活動

- ・ 骨密度測定 13町18会場で1513人参加 / 血管年齢測定 12町12会場で945人参加

感想

市民が健康づくり事業に主体的に参加する保健推進委員の取り組みは、当町のように担当課職員ができる事業を一生懸命に取り組むという形とはまた違い、地域住民への健康づくりの事業を広げていくためには重要な取り組みであると感じました。

当町の福祉政策に関する調査や意見交換を実施

東伊豆町の健康寿命

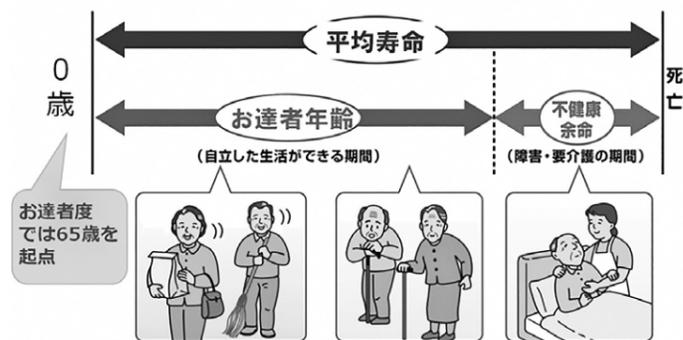
	男性	女性
東伊豆町	73.8	81.7
静岡県	80.1	84.3

文教厚生常任委員会では、町の高齢化率が47.3%となった現状を踏まえ、町の福祉施策に何が不足しているのか調査するために、高齢者福祉・高齢者の生活などについて、所管事務調査を行っています。

これまでに担当課である健康づくり課からの施策の説明や町内のケアマネジャーの皆様との意見交換、老人クラブ連合会の皆様との懇談、稲取ふれあいいきいきサロン見学などを行いました。

市町別健康寿命「お達者年齢」の考え方

（0歳から健康で自立している人が心身ともに自立した活動的な状態で生存できる平均期間）



財政支出を抑えた市庁舎移転とノックルを視察

【富山県氷見市 コンバージョンによる庁舎移転】



体育館天井の白いテント幕



コンバージョンとは
既存の建物を用途変更し再生させる建築手法のこと。

事業の概要

旧市庁舎の老朽化や耐震性能不足、庁舎の分散配置等さまざまな問題を解決するため、7つの選択肢の中から閉校となった旧県立高等学校の体育館と校舎棟の一部をコンバージョンし、新しい市庁舎として整備しました。

解決した課題

- ・ 防災機能の強化
（耐震性確保、アクセス向上、駐車場不足解消等）
- ・ 市民の利便性が向上
（分庁舎及び窓口部門を集約、他公的機関と隣接等）



市民と関係する部署を集中配置



議員派遣結果報告は
こちら

感想

財政難の中で新たな庁舎を建設することは大変難しい課題ですが、氷見市はより良い市民サービスの実現に向けて、3年間にわたる市民への丁寧な説明を通じ、理解を得て、新庁舎建設を実現しました。

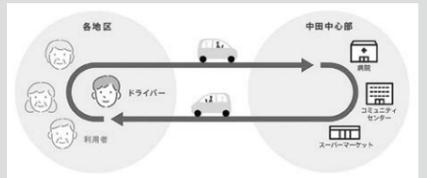
公共施設の更新は大規模災害に備え、町民の生命を守るためにも必要です。率直な意見交換を町民・行政・議会一丸となって進めていくべきであると感じました。

【富山県高岡市

「ノックル中田」「公共交通空白地有償運送」の取り組み】

感想

住民が主体となって運行する「市民協働型地域交通システム」を導入し、骨格的公共交通を補完する取り組みとしてコミュニティ交通が確立されていました。合併後の市内全域で公共交通が脆弱な地域5地区が、それぞれの地域に合った運行形態で運営し、市は調整・補助といった側面支援をしています。当町と同じ会社のシステムで運行している「ノックル中田」においても、運行に関しては、住民が主体となり地域のニーズ把握、運行計画の作成・修正をしていることから地域にとって利便性の高いものになっているようです。運転手の確保も地域が主体となって集めており、地域のニーズに対して不足が生じていません。



鉄軌道やバスといった既存の公共交通の維持・確保に努めながら、公共交通を補完するための「市民協働型地域交通システム」の横展開には令和版の協働型体系として大いに参考になりました。全国の見本となる高岡市のシステムを視察できたことで当町のノックルについて再考する必要性を強く感じたところです。

かがやく まちのひと

Vol.20

今回は子どもからお年寄りまで笑顔で夕食を楽しんでいる「三宝縁」主催の「こどもおとな食堂」に伺ってきました。



代表の加藤淳香さん

「どんな方々で活動していますか。」

元三宝保育園の園長だった加藤淳香さんを代表に調理責任者は「クローバー」の古屋修司さんが務めています。他に有志の皆さん、稲取高校被服食物部の生徒や先生も加わり、地域の皆さんと縁を作りたいと活動しています。

「今日は楽しい食事の様子を取らせていただきました。どんな思いで開催していますか。」

家族のあり方が変わりスーパーやコンビニの弁当で済ませる事が気になっていました。手作りの温かい料理を振る舞いたく、



掲示板も見てね



本日のメニュー

今年度「東伊豆町提案型」と昨年からの計画を練り、まちづくり補助金の認定を受け、孤食のお年寄りや子ども達が一緒に食事ができるよう開催しています。毎月1回不定期の開催ですが、土曜日の18時から子ども100円、大人200円で提供しています。ちなみに今回も100人前後の町民で賑わっていました。メニューは、豚汁うどん、黄飯のおにぎり、デザートのパブルワッフルと心も体も温まるものを用意しました。



皆さん楽しそうです

また活動を通じてフードパントリー事業（規格外の野菜や賞味期限が近づいている食品を困っている人へ届けるなどの活動）も行っています。現在は主に近所や稲取地区の方が利用していますが、今後は賛同者を増やして町内の各地区で開催し、町を明るくしたいと思っています。他の活動としては、芝浦工大の学生に無料で宿泊してもらい、大人も子どもも集まって一人で悩まず相談やお話ができる場所を用意したり、地域の子どもへの学習指導などを行っています。

編集後記

年末の恒例行事となったその年の世相を表す漢字一文字。昨年は「金」だったが、町にとってはどんな文字の一年だっただろうか。一年間の議会質問を振り返ると、防災や教育についての質問が多かった。町の課題は何か、どのような町を目指すのか、それに対してどう行動するのか、今年も全議員が全力で取り組んでいきたい。議会改革特別委員会では広報広聴を最重要課題とした。ていねいで分かりやすい発信と町の皆さんの声を聴く機会を設ける計画をしている。町にとっての年末の漢字一文字が明るく希望ある漢字となるために。
 (栗原)

議会広報編集委員会

委員長	栗原京子
副委員長	稲葉義仁
委員	山田豪彦
委員	鈴木伸和
委員	笠井政明
委員	山田直志